

全身の疾患別処方を考える③ 糖尿病患者への投与

長野市 原山歯科医院 原山周一郎

今回は、近年増加傾向にある糖尿病のある方の処方の解説をします。

インスリン非依存型糖尿病の場合は、経口治療薬の血糖降下剤(ベイスン、ダオニール、オイグルコン、アマリール、グリミクロンなど)を投与されています。血糖降下剤(ダオニール、オイグルコン)と酸性NSAIDs(ロキソニン、ボルタレン)で、血糖降下剤の作用を増強させると言う報告があります。

抗菌剤では、テトラサイクリン系(ミノマイシン)やニューキノロン系(クラビットなど)との相互作用で、

鎮痛剤の処方例

レシビ1	ロキソニン(60mg) 1回1錠	疼痛時服用	与3回
レシビ2	カロナール(300mg) 1回1錠	疼痛時服用	与3回
レシビ3	ツムラ立効散エキス顆粒 1回2.5g	食前または食間服用	与3回

抗菌剤の処方例

レシビ1	サワシリン(250mg) 1日3カプセル	分3 毎食後	与3日
レシビ2	フロモックス(100mg) 1日3錠	分3 毎食後	与3日
レシビ3	クラリス(200mg) 1日2錠	分2 朝夕食後	与3日

血糖値の上昇、下降など不安定になり、投与はしない方が良いです。一般的には、ペニシリン系(サワシリン)、セフェム系(フロモックスなど)が安全です。

糖尿病の場合は、血管障害、神経障害を合併していることもあり十分な問診と現在の血糖値のコントロールを問合わせてみることも重要です。

今回は喘息患者への投薬です。



11月9日10日の両日、長野市生涯学習センターで「口腔ケア長寿健康学」というタイトルで大阪歯科大学の王宝禮教授(前松本歯科大学教授)による講義が行われていた。放送大学2月期面接授業、専門科目区分「生活と福祉」の表題の講義として行われたもので、受講者は、20代から60代まで幅広く、様々な職種の方40名程が受講した。

講義の内容は、歯周医学の概念のもと肺炎、心臓病、低体重児出産などの全身疾患に対するメカニズムやその予防のための口腔ケアの重要性を説明した。また最近話題が上がっている。

骨粗鬆症患者のビスホスホネート製剤長期投与と患者の抜歯による顎骨壊死やインフルエンザの感染予防にも歯ブラ

シによる細菌除去の効果を統計的に解説した。さらに、口腔乾燥症、口内炎、味覚障害、口臭症に対して、西洋医学と漢方医学を融合した口腔医療を症例をあげながら解説した。学生は食い入るように講義を聴講し、様々な質問が飛び交った。

これまで4年間の講義で約200名が受講した人気講義のひとつ。

ちなみに生活と福祉関係では「医療と人権」放送大学客員准教授白井泰子氏、「介護保険制度研究」長野大学教授・合津文雄氏の2講が王教授の講義同様11月に同会場で行われていた。



4年間で約200人が受講の王教授の講義から今回の様子

10月12-13両日横浜市で開催された第28回保団連医療研究集会に参加した。

1日目

14時~15時は「歌うこと、演じること、そして生きること」と題し女優の倍賞千恵子氏(写真)の記念講演(市民公開講座)をお聞きした。

NHKラジオのどの自慢で合格し、芸能界への道へ、松竹歌劇団に入る。芸名でなく本名とのこと。映画デビューし170本に出演(「男はつらいよ」は48本)。素晴らしい歌声で下町の太陽などを歌っていただいた。



15:20~16:50シンポジウム「医療と倫理」があった。パネラーは出河雅彦氏(朝日新聞青森総局長)医療事故について。大磯義一郎氏(浜松医科大学医療法学教授・医師と弁護士)医療者と患者の相互理解について。権丈善一氏(慶應義塾大学商学部教授)中福祉を守るためには消費税増税が必要。棚島次郎氏(東京財団研究員)再生医療について。桑島政

保団連医療研究集会は、こんな2日間 横浜開催、長野からは3演題の報告あり

臣氏(神奈川県保険医協会政策部長)医療ガバナンスについて。とそれぞれのお話を聞いた。

17:00~17:20オープニング行事があり、17:20~17:50 基調講演地域医療における開業医の役割~神奈川県における臨床研究活動の総括と今後~と題し森壽生氏より講演をいただいた。

17:50~18:50共同研究調査報告 医科から「全国6,500人の高血圧治療状況の結果報告について」、歯科から「抜歯時の歯科医師へのストレス調査-血圧変動に着目して」について講演を拝聴した。

18:50~19:20学術講演があり、「高血圧治療ガイドライン2014と大規模調査の意義」と題し梅村敏氏(横浜市立大

学大学院医学研究科教授)よりお話を聞いた。

別会場では14:00~16:00特別企画「児童虐待対策」(市民公開講座)「こどもの虐待-地域の一員としての役割を考える」があった。

19:30~21:00ウェルカムパーティーがあった。

2日目

9:00~12:00分科会とポスターセッションがあり、長野協会からは第3分科会 歯科医療の研究と工夫で林春二氏「歯を残すということ」、宮入香歯科衛生士「歯科衛生士の原点歯磨きについて考える」、松林



医療研2日目の糖尿病と歯周病関係のシンポジウム会場

綾香歯科衛生士「情報の伝達~院内新聞を通じて~」を発表した。

12:00~13:00ランチョンセミナーでは医科2題歯科2題があり、うち歯科では王宝禮氏(大阪歯科大学歯科医学研究開発室教授)より「口腔内科的発想による歯周病抗菌薬療法と口腔漢方」と題し講演があり、歯周病治療に対する薬物療法および歯科臨床に漢方薬の投薬を紹介する内容であった。

13:00~16:00在宅医療セミナー、糖尿病ネットワーク研究会、循環器セミナー、糖尿病と歯周病のシンポジウムがあり、シンポジウムに参加した。

シンポジウムでは「患者さんが知りたい、糖尿病からわかる歯周病のメカニズム」をテーマに鴨井久一氏(日本歯科大学名誉教授・歯周病学会元理事長)の座長のもと、川合明彦氏(せんば東京高輪病院心臓血管外科部長



講演の川合氏と佐藤氏

循環器センター長)が糖尿病に基礎知識について、佐藤聡氏(日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座教授・先端研究センター再生医療学教授)が歯周病と糖尿病について講演をし、拝聴した。

2日間充実した医療研究集会であった。来年は北海道で開催される予定である。(〇生)

歯科部会のお誘い

長野県保険医協会では長野市の事務所と松本・佐久・飯田の各市内の会場を電話で結んで歯科部会を開催しています。歯科医療制度、保険診療の諸問題など歯科の動向に関する事前資料を元に討議を行い、全体

の理事会にも上げて、歯科の活動を進めている。参加希望については協会(電話026-226-0086)まで。

開業医共済休業保障制度

勤務医も加入可
現在1月末日締切で第3次募集中!

保険医協会事務所

窓口時間のお知らせ

月~金 8:45~18:15
(12:00~14:00は、昼食時間交代制により対応可能です)
年未年始の関係は次号でお知らせします。